

BUSINESS REPORT

第47期 ご報告書

2022年7月1日 ▶ 2023年6月30日

株主のみなさまへ



代表取締役社長

長澤 成博

株主の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

当連結会計年度(2022年7月1日～2023年6月30日)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する各種政策やワクチンの普及等により、行動制限が緩和され一時持ち直しの動向がみられておりましたが、ロシア・ウクライナ情勢の長期化に伴う原材料価格やエネルギー価格の高騰、急激な円安進行により物価高が続くなど依然として先行き不透明な状況が続いております。外食産業におきましては、行動規制の緩和により消費活動が活発となり回復傾向ではありますが、原材料価格や人件費及び光熱費等の高騰の影響もあり、予断を許さない経営環境が続いております。

このような状況の中、お客様の価値観や行動様式、ニーズが大きく変化する転換期であると認識し、大胆な変革を行う絶好の機会であると捉え、飲食事業で培った強みを活かし、2020年7月より水産の産地に入り、生産者とともに歩む「産地活性化プラットフォーム」として「価値ある食文化の提案」を行うべく、水産の6次産業化を成長基盤とするため事業構造の転換に取り組んでまいりましたが、この3年間でほぼ構造転換を完了いたしました。

当社グループは、コロナ禍においても収益を確保できる独自の事業ポートフォリオの構築を目的として、既存事業とのシナジーを追求した水産の6次産業化を推し進めております。水産事業においては、当社所有の漁船「辨天丸」が2023年5月、下田港より初漁に向けて出港し、その日の漁獲を当社直営店舗にダイレクトに卸す試みを開始いたしました。さらに、2023年4月に当社初となる水産物の小売店(鮮魚店)「漁港産直積極魚食『サカナタベタイ』」(千葉県市川市MEGADON・キホーテ本八幡店内)を新規

出店いたしました。「サカナタベタイ」では、近年魚食離れが進む我が国において、魚の食べ方、美味しさ、種類や旬などをお客様に知って頂くため『漁港産直』の鮮魚だけでなく『積極魚食』を謳い、飲食店の料理人が監修するサカナ惣菜や希少部位、未利用魚などを無駄なく活用することで、「サカナタベタイ!」と若年者層から高齢者層まで幅広く支持されるお店づくりに努めてまいります。

飲食事業においては、業績回復が著しい「アカマル屋」が既存店2019年(コロナ前)同月対比で100%を超えるなど、コロナ禍で変化したお客様ニーズにマッチするブランドとして成長を続けております。また、「アカマル屋」はこれまで串焼きやおでん、煮込み料理を中心とした大衆酒場でお客様から好評を博しておりましたが、水産の6次産業化を目指す当社グループのシナジー効果を最大化するため、「アカマル屋鮮魚店」を開発いたしました。「アカマル屋鮮魚店」は鮮魚店併設型の大衆酒場であり、沼津からの朝獲れ鮮魚やSANKO海商(浜松)、総合食品(豊洲)と連携した商品提供を行っております。また、まぐろの解体ショーを定期的を実施するなど、連日お客様で賑わう新しいコンセプトの大衆酒場であります。同ブランドは、2022年4月に1号店を大宮(埼玉県さいたま市)、同年10月に大山(東京都板橋区)、2023年1月に溝の口(神奈川県川崎市)、同年6月に府中(東京都府中市)にそれぞれ出店いたしました。「アカマル屋」は、投資効率の高いブランドであり、引き続きブランドの磨き上げを行い、商圏及び立地条件を見極めたうえで積極的に出店してまいります。

また、官公庁等を中心とする食堂施設の運営受託事業は、「産地活性化プラットフォーム」として、農林水産省内の職員食堂である

「あふ食堂」を中心に官公庁食堂群を活用し、全国自治体・各種団体と連携し全国産地の郷土料理や食材をテーマにしたイベント開催に取り組むことで食堂運営受託の枠を超えた、産地活性化への挑戦と食堂利用のお客様満足度を官民一体で両立させる取組みを推進いたしました。こうした取り組みの結果、飲食事業部門として、コロナ禍の影響が漸次的に薄れた第2四半期以降、緩やかに売上が回復し、事業ユニットとして黒字転換を果たしました。

その他の事業では、2023年6月清掃事業を営む株式会社サンハイ(東京都文京区)をグループ化することで除菌・清掃事業を起点とした飲食店等へのトータルサポート事業の安定的な事業基盤を獲得しました。

出退店につきましては、直営店8店舗及び運営受託店7店舗を閉店いたしました。また、新規出店につきましては、直営店5店舗、フランチャイズ店1店舗(海外ライセンス店)を新たに開業いたしました。これにより当事業年度末における店舗数は、直営店39店舗(うち運営受託店11店舗)、フランチャイズ店(運営委託店舗含む)は海外(香港・タイ)4店舗、国内2店舗で計6店舗となりました。

以上により、売上高は71億19百万円(前年同期比195.3%増加)となり、営業損失は7億48百万円(前年同期は営業損失10億97百万円)となりました。また、経常損失は7億49百万円(前年同期は経常損失3億5百万円)、親会社株主に帰属する当期純損失は7億84百万円(前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失4億39百万円)となりました。

第47期の主な取り組み

1 アカマル屋ブランドの続伸



「アカマル屋」は、これまで串焼きやおでん、煮込み料理を中心とした大衆酒場でお客様から好評を博しておりましたが、水産の6次産業化を目指す当社グループのシナジー効果を最大化し、かつ、お客様に還元するため、業態をアレンジし、新たに「アカマル屋鮮魚店」を開発いたしました。「アカマル屋鮮魚店」は鮮魚店併設型の大衆酒場であり、2022年4月に1号店を大宮で開店して以来、沼津からの朝獲れ鮮魚や浜松のSANKO海商、豊洲の総合食品と連携したまぐろの解体ショーの実施など連日お客様で賑わう新しいコンセプトの大衆酒場であります。



2 官公庁食堂群と産地の連携



農林水産省内の職員食堂である「あふ食堂」を中心に官公庁食堂群と連携し、全国自治体・各種団体と全国産地の郷土料理や食材をテーマにしたイベント開催に取り組むことで食堂運営受託の枠を超えた、産地活性化への挑戦と食堂利用のお客様満足を官民一体で両立させる取組みを推進いたしました。



3 鮮魚小売店の新規出店

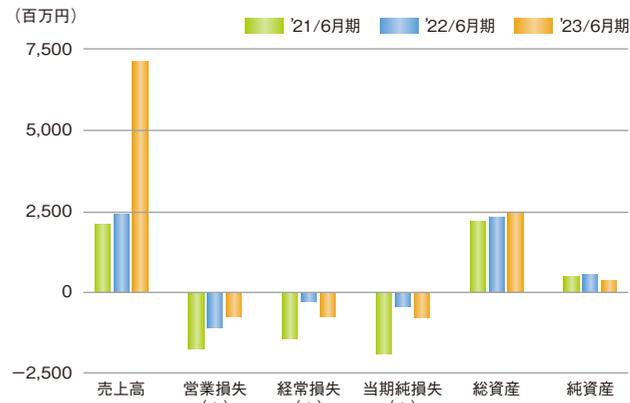


2023年4月に当社初となる水産物の小売店(鮮魚店)「漁港産直積極魚食『サカナタベタイ』」(千葉県市川市MEGADON・キホーテ本八幡店内)を新規出店いたしました。「サカナタベタイ」では、近年魚食離れが進む我が国において、魚の食べ方、美味しさ、種類や旬などをお客様に知ってもらうため『漁港産直』の鮮魚だけでなく『積極魚食』を謳い、飲食店の料理人が監修するサカナ惣菜や希少部位、未利用魚などを無駄なく活用することで、「サカナタベタイ!」と若年者層から高齢者層まで幅広く支持されるお店づくりに努めてまいります。

財務ハイライト

	'21/6月期	'22/6月期	'23/6月期
売上高	2,102	2,410	7,119
営業損失(△)	△1,747	△1,097	△748
経常損失(△)	△1,426	△305	△749
当期純損失(△)	△1,817	△439	△784
総資産	2,183	2,311	2,473
純資産	488	559	375

(単位:百万円)



Financial Highlights

株主優待制度に関するお知らせ

保有株式数および保有期間に応じて、当社指定商品および当社店舗でご利用いただける割引券を発送いたします。

①対象となる株主様(変更なし)
毎年6月末日および12月末日の当社株主名簿を基準として年2回実施いたします。

保有株式数	保有期間		
	0.5年以上 1.5年未満	1.5年以上 3年未満	3年以上
100株以上 200株未満	ブロンズ	シルバー	ゴールド
200株以上 500株未満	シルバー	ゴールド	プラチナ
500株以上	ゴールド	プラチナ	ダイヤモンド

②商品および割引券の内容
保有株式数および保有期間に応じて、以下の当社指定商品および当社店舗でご利用いただける割引券を発送いたします。



※1 割引券のご利用方法およびご利用上の注意
●他の割引券および金券等との併用はできませんのでご注意ください。●「東京チカラめし」および当社が飲食店舗の運営業務を受託する店舗ではご利用いただけません。●1会計につき1枚のご利用、割引上限は10,000円です。●値引き額は税込の会計金額から割引いたします。●割引券の有効期限は、6ヶ月間といたします。

③商品の発送時期
12月末日の当社株主名簿に記載または記録された株主様
翌年4月から6月にかけて、株主様が証券口座に登録しているご住所に順次発送いたします。

6月末日の当社株主名簿に記載または記録された株主様
同年10月から12月にかけて、株主様が証券口座に登録しているご住所に順次発送いたします。なお、株主様が証券口座に登録しているご住所以外への発送は承ることが出来かねます事、予めご了承ください。

④割引券の発送時期
12月末日の当社株主名簿に記載または記録された株主様
翌年3月下旬から4月下旬にかけて、株主様が証券口座に登録しているご住所に順次発送いたします。

6月末日の当社株主名簿に記載または記録された株主様
同年9月下旬から10月下旬にかけて、株主様が証券口座に登録しているご住所に順次発送いたします。

Brand Introduction

ブランド紹介

「笑顔と心遣いの大衆酒場」をコンセプトに、「もつ煮込み」「炭火串焼き」「出汁煮込みおでん」を中心とした肴と美味しいお酒が勢ぞろい。地元の皆様にも愛される温かいお店です。

手切りにこだわった正直な焼肉屋さんをコンセプト。肉問屋が厳選した肉を直送で取り寄せ、新鮮な状態で提供。「お客様の為に手間を惜しまない」これが万里のこだわりです。

沼津や浜松から漁港直送の魚介類を楽しめるお店です。丁寧な店内仕込みにごこだわり、毎日漁港から届く新鮮な鮮魚を「おすすめ商品」として提供いたします。

1996年新宿にパスタ専門店として創業。レトロな雰囲気店内でリーズナブルに定番・和風・創作など多彩なパスタをお楽しみいただけます。細麺を茹で上げているので、お待たせせずにご提供できるのも強みです。

国産有機農産物を使用する霞が関官庁初の食堂です。環境に配慮した食材、被災地産食材を積極的に使用したメニュー開発を行っており、産地の食材をふんだんに使ったフェアも開催しております。

沼津港から配送される、産地直送鮮魚、生本まぐろ、活き車えびなど駿河湾沼津港ブランドの魚を中心に、鮮度の高い魚を提供する魚屋さんです。併設の大衆酒場(アカマル屋)ではお酒と一緒に鮮魚料理が楽しめます。

東京・高田馬場「まるがまる」は、沼津港から毎日届く旬な鮮魚や珍しい魚を職人が美味しい料理に仕立て、提供する寿司ブランドです。

「肉は焼こうまい。」をコンセプトに、FC出店、ライセンスビジネスに注力。香港3店舗、タイ1店舗とライセンス出店を国内のみならず海外へも進出中。

若年層からご年配、お勤め帰りやご家族のだんらんなど、幅広いお客様のニーズにお応えするため、味付けやボリュームにごこだわりつつ、沼津・浜松の鮮魚も取り入れたメニューをお求めやすい価格で提供し、気軽に何度でもご利用いただける居酒屋です。

魚食離れ阻止に挑戦!自分たちが獲った魚や目利きした水産商品、当社社理人監修のサカナ惣菜で飲食と水産事業の強みを最大限活用した鮮魚店です。

社名	株式会社SANKO MARKETING FOODS (英文名:SANKO MARKETING FOODS CO.,LTD.)			
本社	〒169-0075 東京都新宿区高田馬場一丁目28番10号			
本店	〒104-0033 東京都中央区新川一丁目10番14号			
支店	〒410-0843 静岡県沼津市蓼原町45番地の2			
事業内容	飲食店の経営、水産業			
創業	1975年9月	設立	1977年4月	
資本金	1千万円			
代表者	代表取締役社長 長澤成博			
従業員数	正社員163名(2023年6月30日現在)			
取引銀行	三井住友銀行、横浜銀行			
役員	代表取締役社長 取締役会長 常務取締役 取締役 取締役	長澤 成博 平林 隆広 富川 健太郎 河野 恵美 田中 研次	常勤監査役 滝澤 正樹 監査役 三村 藤明 監査役 山下 貴	注)河野恵美氏、田中研次氏は社外取締役であります。また、滝澤正樹氏、三村藤明氏及び山下貴氏は、社外監査役であります。

2023年6月30日現在

発行可能株式総数…… 43,072,000株 株主数…… 23,539名
発行済株式の総数…… 22,256,203株

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	持株比率(%)
平林 隆広	3,506,800	15.8
株式会社TLF	2,519,700	11.3
BNP PARIBAS LONDON BRANCH FOR PRIME BROKERAGE CLEARANCE ACC FOR THIRD PARTY	1,800,003	8.1
有限会社神田コンサルティング	1,581,900	7.1
平林 実	1,432,500	6.4
平林 実人	1,048,000	4.7
アサヒビール株式会社	623,500	2.8
楽天証券株式会社	221,700	1.0
株式会社SBI証券	205,151	0.9
山田 真一	97,900	0.4

株主メモ	
事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年9月
基準日	毎年6月30日(定時株主総会において議決権行使すべき株主の確定日)なお、その必要がある場合は、あらかじめ公告して基準日を定めます。
公告方法	電子公告。ただし、電子公告を行えない事由が生じたときは日本経済新聞に掲載します。
公告掲載URL	https://www.sankofoods.com/
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL:0120(782)031(フリーダイヤル)
上場取引所	東京証券取引所
証券・銘柄コード	2762



〒104-0033 東京都中央区新川一丁目10番14号
https://www.sankofoods.com/